

保育の充実を求めて

山田とし子市議の一般質問



土曜一日保育は山手保育所以外にも増やすこと

山田 現在、土曜日一日保育を実施しているのは山手保育所のみ、希望児童は全体で約100名。他の保育所から3〜10数名が登所している。一方、民間保育園は、ほとんどが土曜一日保育を行っており、多い園では一時保育とあわせると園の定数の66%にもなる。

市は、財政面をいわれるが、子育てや教育は人の配置が第一である。児童福祉法や児童憲章の立場から、「児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されること」そして、「すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければ

ならない」これは、国民の責任であり行政の役割。自治体のコスト面や体制上の都合で、山手保育所に、ひとまとめにするのは自治体本来の役割ではない。是非、山手保育所以外でも土曜一日保育を実施するよう求める。

健康福祉部長 年間利用者数は、延べ1334人。今後の利用状況の推移、待機児童対策など、他の保育事業とのかねあいを総合的に見地から判断したうえで検討したい。

保育所入所希望者が未入所とならない取り組みを

山田 飯能市の28年度に未入所となった児童は69名、特に3才未満児の未入所が59名で全体の86%にもなっている。厚生労働省では、今年4月に、認可保育所を希望しながら、入れなかった子どもは全国で2万3553人で2年連続で増加。

「保活」を苦労とか負担と感じる人は、8割以上で、「保活」などという言葉が必要のないよう保育施設や質を充実させてほしいという意見があったが当然のこと。児童福祉法は、自治体には保育の実施義務を定めおり、保育を国民に保障することは国と自治体の責任と位置付けている。市は未入所児童がでないように、公立保育所を中心に認可保育所の整備に、いまこそ真剣に取り組みべきではないか。

健康福祉部長 保育所入所希望は増加傾向にあり、特に3・4才以外は増加している。待機児童等の解消策としては既存施設の定員増加や新規事業者による民間保育施設の新設等で定員数の拡大を図る。今ある認可外保育施設を認可保育施設の分園として保育定員の増加を考えている。と答弁しました。

情報もなくオスプレイ配備

滝沢おさむ市議の一般質問



指摘されています。市民の生活を守る市の対応について質問しました。

滝沢 横田基地を離発着する大型輸送機や夜10時頃まで訓練を行っている米軍機の騒音の苦情は絶えない。来年度後半にはオスプレイが3機配備される、その後7機が配備されることになっている。さらにF35ステルス戦闘機の地域整備拠点が横田

米空軍は来年度後半にオスプレイ3機を横田基地に配備するとしています。今でも夜遅くまで横田基地の輸送機が訓練飛行を行い、騒音の苦情や安全性が

いないのが現状だ。

滝沢 本年8月10日に横田基地司令官から気象支援の訓令によって出された資料で9ルートが示されている。飛行ルートは、東京、神奈川、埼玉、群馬、茨城、栃木、山梨、静岡、長野の9都県におよび、飯能の上空も低空で飛行訓練が行われている。消防署にはヘリポートがあるが、再三指摘している防災ヘリやドクターヘリの安全性が保たれるのか。

危機管理監 米軍機の低空飛行については重大な事故につながるから、県基地対策協議会の要望の際、低空飛行を行わないよう申入れている。

オスプレイ配備に、全く説明なし

滝沢市議 27年5月には防衛省からオスプレイの資料提供があったが、その後説明があったのか。

危機管理監 その後は説明はない、国に対して十分な説明を行うよう基地対策協議会を通じて申し入れている。

滝沢 27年10月には、北関東防衛局から「横田基地へのCV-22オスプレイ配備に関する環境レビュー」が出されている。騒音の問題では現在訓練をしているC130輸送機と同程度としているが、騒音感知点として南側は首都大学東京などの地点があるのに埼玉側には全く記載がない。また、オスプレイを配備するため新たな設備を建築することや、430名の軍人や軍属が増員される事も記載されている。オスプレイが配備されることにより、横田基地が大きく変貌することが理解できる。その様な中で、度々予告もなしにオスプレイが飛来している。市民の不安は払しょくされていない。市も市民も何も知らされないうまま、横田基地の機能が強化され、なす崩壊的にオスプレイが配備されてしまうようなことは認められない。

